

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成29年度分）

団体名：相楽東部広域連合

プロジェクト名	相楽東部広域連合ネットワーク		実施期間	平成29年度～平成31年度	テーマ	構成3町村による連携	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	相楽東部3町村(笠置町・和束町・南山城村)は近隣町村の大規模開発(町村合併)から取り残されており、特に京都府南部の都市化と正反対に若年層の急激な流出や少子化の波をけ、過疎・高齢化が進む自治体となっている。そのため、自治行政が平常化しにくく、特に住民サービスが関わるところでスケールメリットを活かせる分野において、3町村が連携を図り、住民の負担を軽減し、効率的な公共サービスが提供できるように取り組んでいる。							
プロジェクトの目的及び概要	広域的なスケールメリットを活かした住民サービスの提供として、質の高い情報発信や効率的な業務処理、次世代を担う若者に質の高いきめ細やかな学習機会の提供等を目的とする。							
	総事業費（千円）	28,672		本年度事業費（千円）	28,672		交付金額（千円）	11,784
プロジェクトを構成する事業の平成29年度事業実績(出来高数値等)								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要			主な実績（出来高数値等）		
市町村実施事業	相楽東部クリーンセンター維持改良事業	交付金事業	施設延命化を目的とした施設維持・改良事業			ごみクレーン巻き上げモーター更新工事・2号煤塵計アンブユニット更新工事 計:6,956千円		
	広域ネットワーク整備事業	交付金事業	連合庁内ネットワーク強化及びセキュリティ向上を目的とした事業 及び自治体中間サーバー総合運用テスト実施に当たり、その実施支援 委託を目的とした事業。			●LGWAN接続系セキュリティ対策作業委託費用:4,158千円 ●LGWAN接続系セキュリティ対策関係機器購入費用:16,035千円 ●中間サーバー総合運用テスト支援委託費用:1,523千円		
	学校施設維持・改良事業	関連事業	連合管内の小中学校の施設・設備について長寿命化や学習環境の改善・安全化や充実を目的とした事業。			●南山城小学校階段補修工事 ●連合立小中学校無線LANネットワーク整備事業		
	各種社会教育事業	関連事業	3町村合同事業(スポーツ交流会・夏祭り等)			小学生を対象としたスポーツ交流会・スキー教室の開催、連合教育委員会が主催する夏祭りの実施		
住民が取り組む事業	各種講座の開講・受講	関連事業	管内住民自らが企画・開催・参加する講座			歴史講座、茶道教室、生花教室、料理教室等		
成果指標①	成果指標の目標数値	廃棄物処理施設(クリーンセンター)の長寿命化		成果指標の実績値 (30年3月31日時点)		●ごみクレーン巻き上げモーター更新工事 ●2号煤塵計アンブユニット更新工事 計:6,956千円		
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	長年の稼働により、老朽化が進んでいる部分を更新することにより、安定的なゴミの処理ができているため。				
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	(理由)				(時期)		
成果指標②	成果指標の目標数値	連合ネットワークの強化及びセキュリティの向上		成果指標の実績値 (30年3月31日時点)		●LGWAN接続系セキュリティ対策作業委託費用:4,158千円 ●LGWAN接続系セキュリティ対策関係機器購入費用:16,035千円 ●中間サーバー総合運用テスト支援委託費用:1,523千円 計21,716千円		
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	平成28年度から実施している、連合ネットワークの強化及びセキュリティ対策の2段階目を平成29年度に実施し、予定通り完了したため。 また、中間サーバー総合運用テストの支援については、自治体同士で行われる情報連携に向けたテストを実施するための環境構築やテスト本番の支援等の委託が主であり、これについてもスムーズにテスト本番まで終えることができたため。				
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	(理由)				(時期)		
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果	平成29年度の交付金事業は、廃棄物処理施設(クリーンセンター)の更新事業と、連合のネットワーク整備関係の二つが該当するが、いずれも予定通りに完了した。指標①に関しては、ゴミ処理施設の更新をおこなうことで、施設の機械類が故障しゴミ処理が止まる危険性を回避し、自治体にとって不可欠なゴミ処理の業務が滞りなく実施できているという効果が出ている。指標②に関しては、連合のネットワークを強化を実施することにより、セキュリティレベルの向上につながる効果が現れている。							
※未達成の場合も効果を記載すること	※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。							
本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	連合教育委員会が企画するイベント(スポーツを通した住民同士の交流会や毎年7月に開催している夏祭り等)や、住民自身が企画・実施している各種講座との連携効果により、相楽東部地域住民の人々の心身ともに豊かにすることができた。						
	府と市町村等との連携に資する成果							
	住民の自治意識を高める成果							
	リーディング・モデル成果							
	広域的波及成果							
	行財政改革に資する成果							
	その他の成果	●運転開始から18年以上が経過し、老朽化が進む廃棄物処理施設(相楽東部クリーンセンター)を改修整備することで、施設の延命化を実現し、整備不良による施設全体の負担増を未然に防止することができた。 ●ネットワークの強化化を実施することで、連合のセキュリティレベルを上げることができた。						

- (記載要領)
- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
 - 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
 - 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
 - 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは―を記載すること。